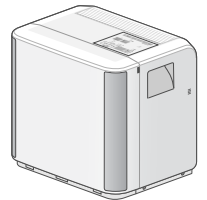
Panasonic®

取扱説明書

気化式加湿機

床置き・卓上形（兼用）

品番 FE-KFE10

品番 FE-KFE15

もくじ

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4 ～5 ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本書では、FE-KFE10のイラストで説明しています。

広い空間をパワフルに加湿、大きなリビングやオフィス・

■大容量の加湿能力で、しかも低消費電力

ＤＣモーター採用、ヒートレスファン（気化）式加湿で低消費電力を実現しました。

■お手入れカンタン、長持ち加湿フィルター

独自の加湿フィルター搭載。押し洗いＯＫ、清潔に使えます。

■キレイな空気とキレイな水で、清潔加湿

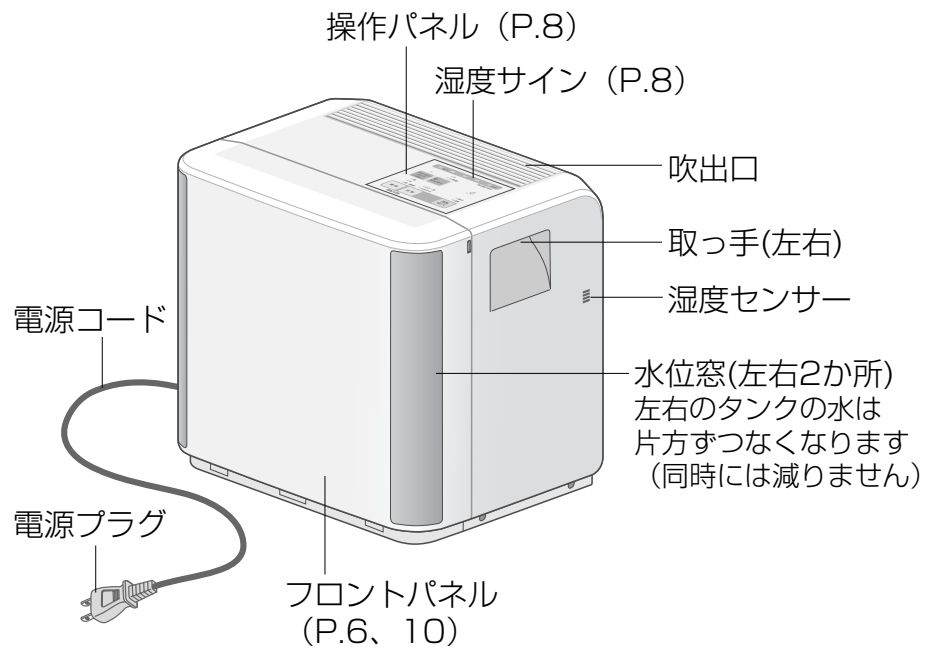
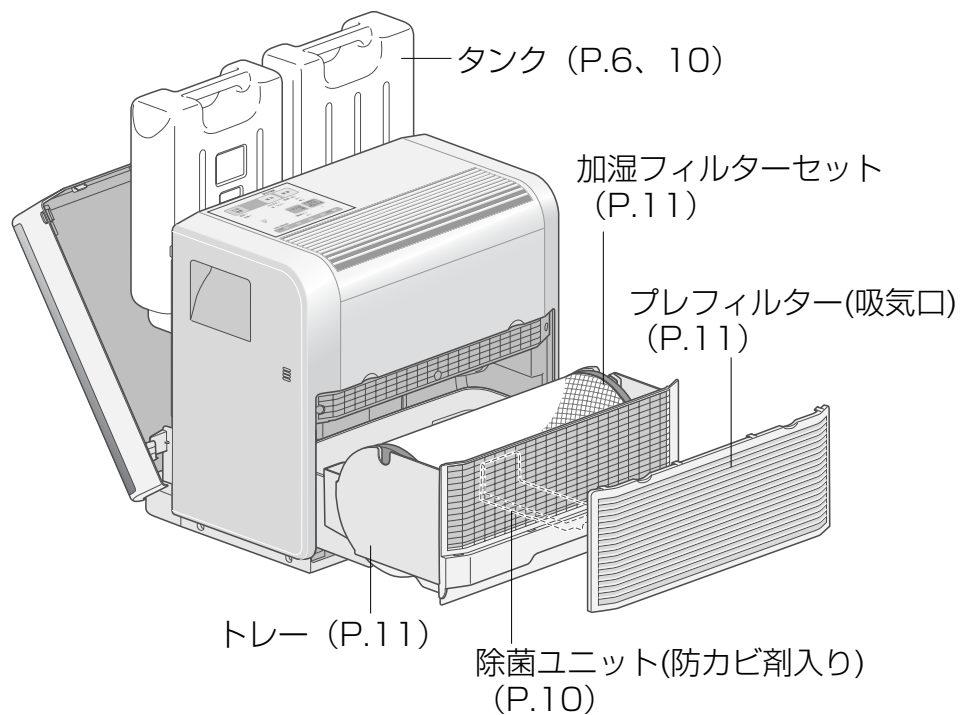
吸い込む空気はスーパーアレルバスターで、トレーの中の水は除菌ユニット（防カビ剤入り）で、キレイな加湿を実現します。

各部の名前

前面

操作パネル（P.8）
湿度サイン（P.8）
吹出口
取っ手(左右)
湿度センサー
電源コード
水位窓(左右2か所)
左右のタンクの水は
片方ずつなくなります
（同時には減りません）
電源プラグ
フロントパネル
（P.6、10）

背面

タンク（P.6、10）
加湿フィルターセット
（P.11）
プレフィルター(吸気口)
（P.11）
トレー（P.11）
除菌ユニット(防カビ剤入り)
（P.10）

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告「死亡や重傷を負う恐れがある内容」です。	**注意**「傷害を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容」です。

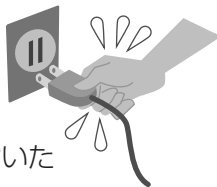
■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

警告

火災や感電などを防ぐために

■持ち運び時、収納時に電源コードを引っぱらない
(コードがショートや断線して火災や感電の原因)

■電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない
(電源プラグや手に付いた水で感電の原因)

■電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない
- 傷つける、加工する、無理に曲げる、引っぱる、重いものを載せるなど

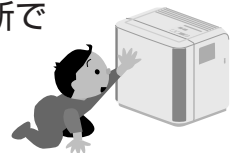
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因)
修理は、販売店にご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外で使わない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)

■電源プラグは、根元まで差し込む
(差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因)
- 傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使わない。

■電源プラグのホコリ等は、定期的に取る
(ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良による火災の原因)
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふく。
- 長期間使わないときは、電源プラグを抜く。

■お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)

■幼児の手の届く所で使わない
(感電やけがの原因)

■塩素系、酸性の洗剤は使わない
(洗剤から有毒ガスが発生し、健康を害す原因)

■吸気口や吹出口、すき間に指や金属物などの異物を入れない
(内部に触れると、感電やけがの原因)

■分解や修理、改造をしない
(発火や異常作動による、火災や感電の原因)修理は、販売店にご相談ください。

■本体は、水につけたり水をかけたりしない
(ショートによる火災や、感電の原因)

⚠注意

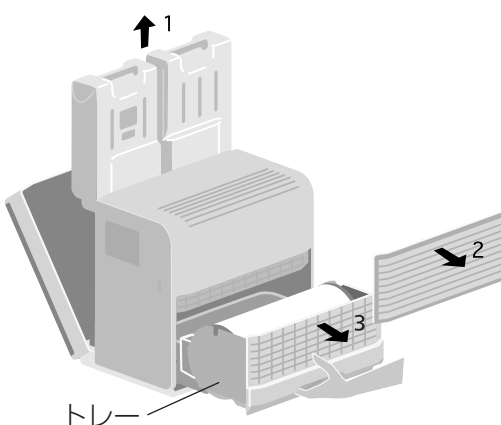
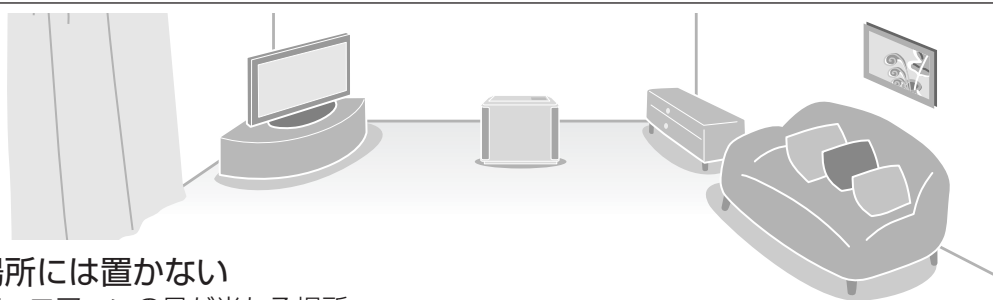
不安定な場所に置かない
（転倒すると、水がこぼれて火災や感電の原因）
- 転倒したときは、水をふき、電源プラグを差し直してください。

本体の上に乗ったり、腰かけたりしない
（けがや破損の原因）

本体を倒さない
（水がこぼれて火災や感電の原因）

タンクの水や本体内部は、常に清潔にする
- ●タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ換える
- ●本体内部は、定期的にお手入れする（汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、および体質によりまれに、健康を害す原因）
  - 体調に異常があったときは、医師にご相談ください。

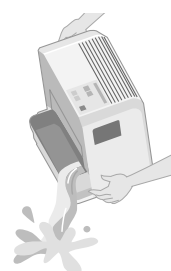
電源プラグは、プラグ部を持って抜く
（破損し、感電やショート、火災の原因）

移動するときは運転を止め、タンクを抜いてトレーの水を捨てる
（水がこぼれて家財などをぬらす原因）
- タンクを抜かないと、トレーは外れません。

使用上のお願い

■ こんな場所には置かない
- ●壁際や窓際、エアコンの風が当たる場所（湿度センサーが正しく働かない原因）
- ●直射日光や暖房機の熱が当たる場所（変形や変質、変色の原因）
- ●カーテンなどで、吸気口や吹出口がふさがれる場所（誤動作や故障の原因）
- ●吹出口の風が家具や壁に直接当たる場所（シミの原因）
- ●テレビやラジオ、電子レンジなど、磁気が出るものの近く（給水ランプが点滅しなかったり、映像の乱れや雑音の原因）
  →1m以上離して置く。

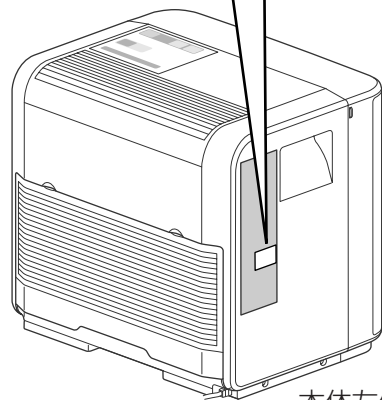
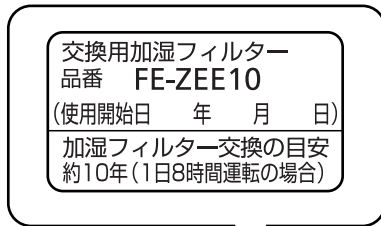
■ 凍結の恐れがあるときは、タンクとトレーの水を捨てる
（水が凍結した状態で運転すると、故障の原因）

■ 本体の上に、物を載せない
（誤動作や故障の原因）
- ●特に、磁石や金属物は載せない（転倒時、自動停止するための内蔵磁石が動き、「運転 切/入」ボタンがきかない原因）

■ 排水は、トレーを取り出してから行い、本体から直接は排水しない
（本体内部に水が入り、故障の原因）

確認・準備

準備する

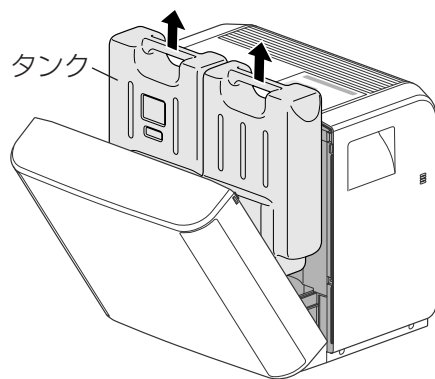
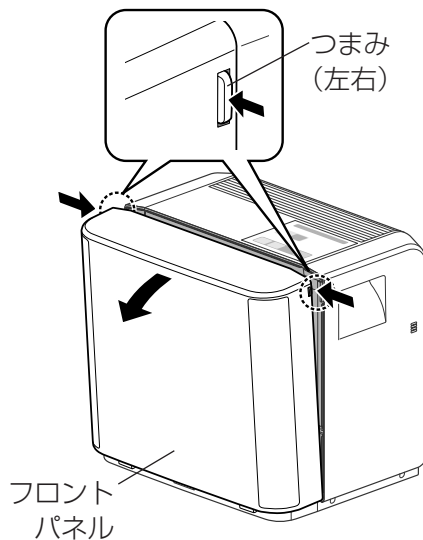
設置の前に

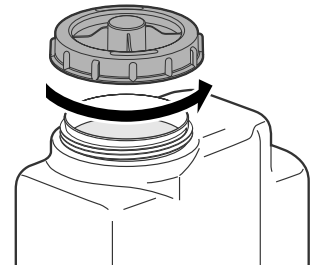
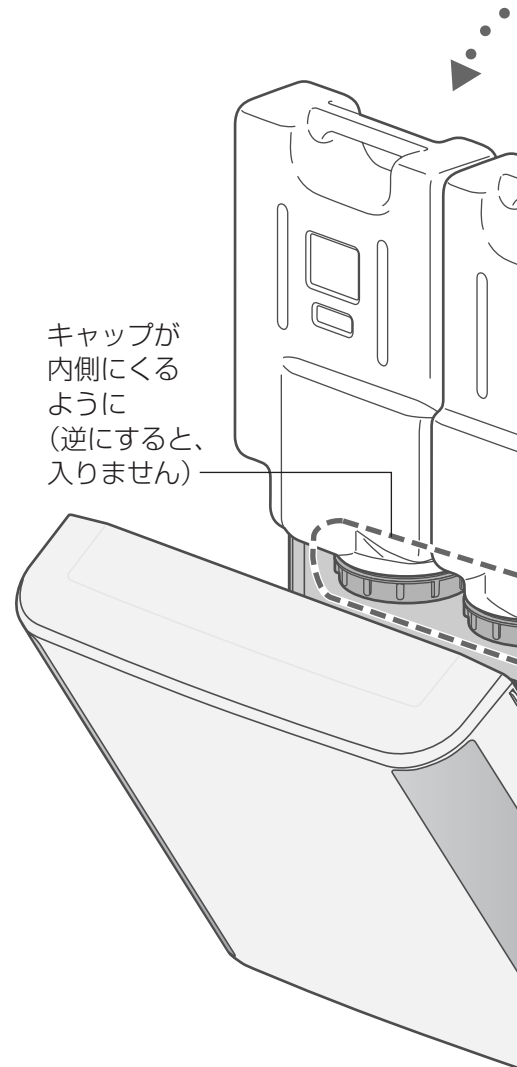
1 使用開始日を記入し、設置する

お願い

●設置の前に必ずP.4～5を参照してください。

タンクに水を入れる

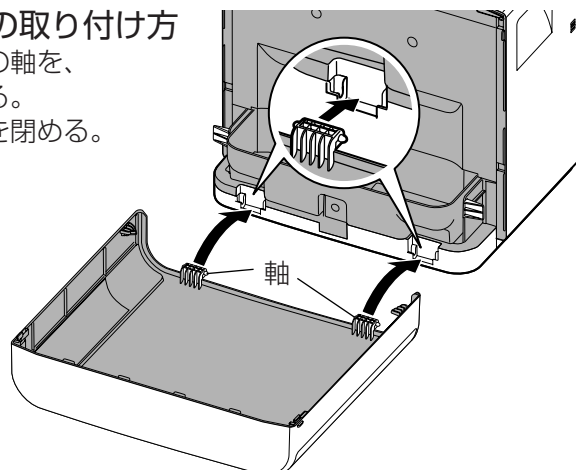
2 フロントパネルを開け、タンクを取り出す

両側のつまみを押し、フロントパネルを前に開く。

3 タンクに水を入れ、本体に戻す

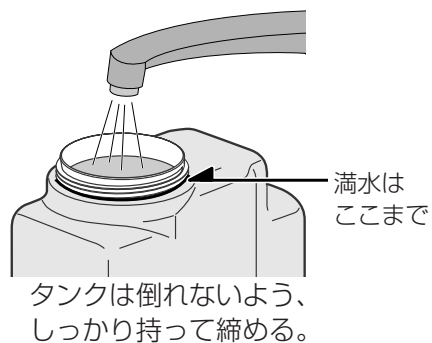
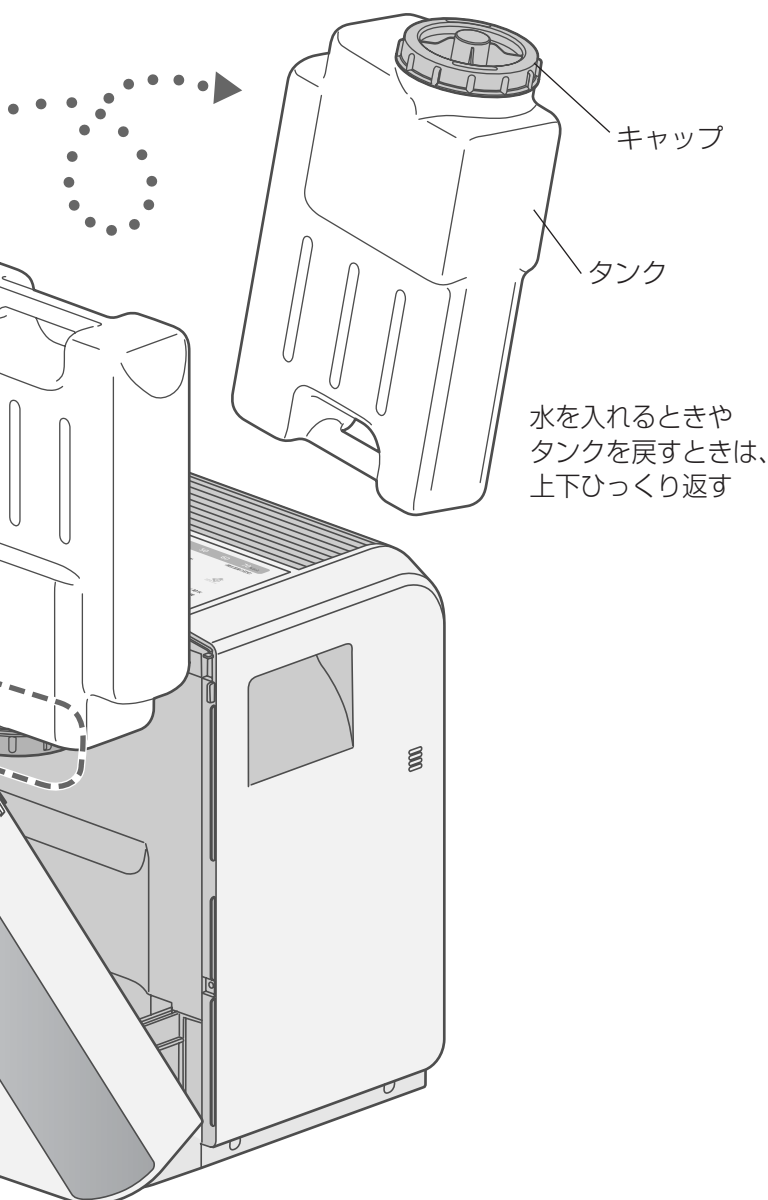
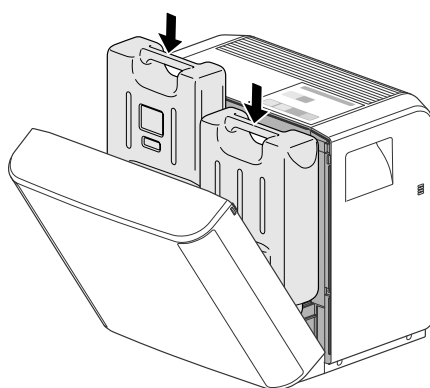
①キャップを外す。

フロントパネルが外れたとき

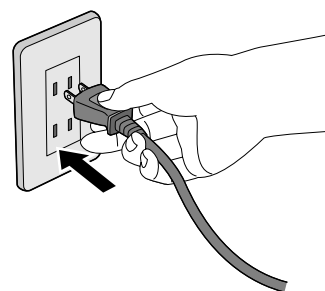
■ フロントパネルの取り付け方

① フロントパネルの軸を、本体に取り付ける。
② フロントパネルを閉める。

②水を入れ、キャップをしっかり締める。

タンクは倒れないよう、しっかり持って締める。

③タンクを元に戻し、フロントパネルを閉める。

水を入れるときやタンクを戻すときは、上下ひっくり返す

4 電源プラグを差し込む

（差し込む前に、電源プラグや手に付いた水はふく）

●湿度サイン（P.8）が点灯し、現在湿度の目安をお知らせします。

■ 必ず、水道水（飲用）を使う！

（一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくいため）

●次のような水は、使わない。

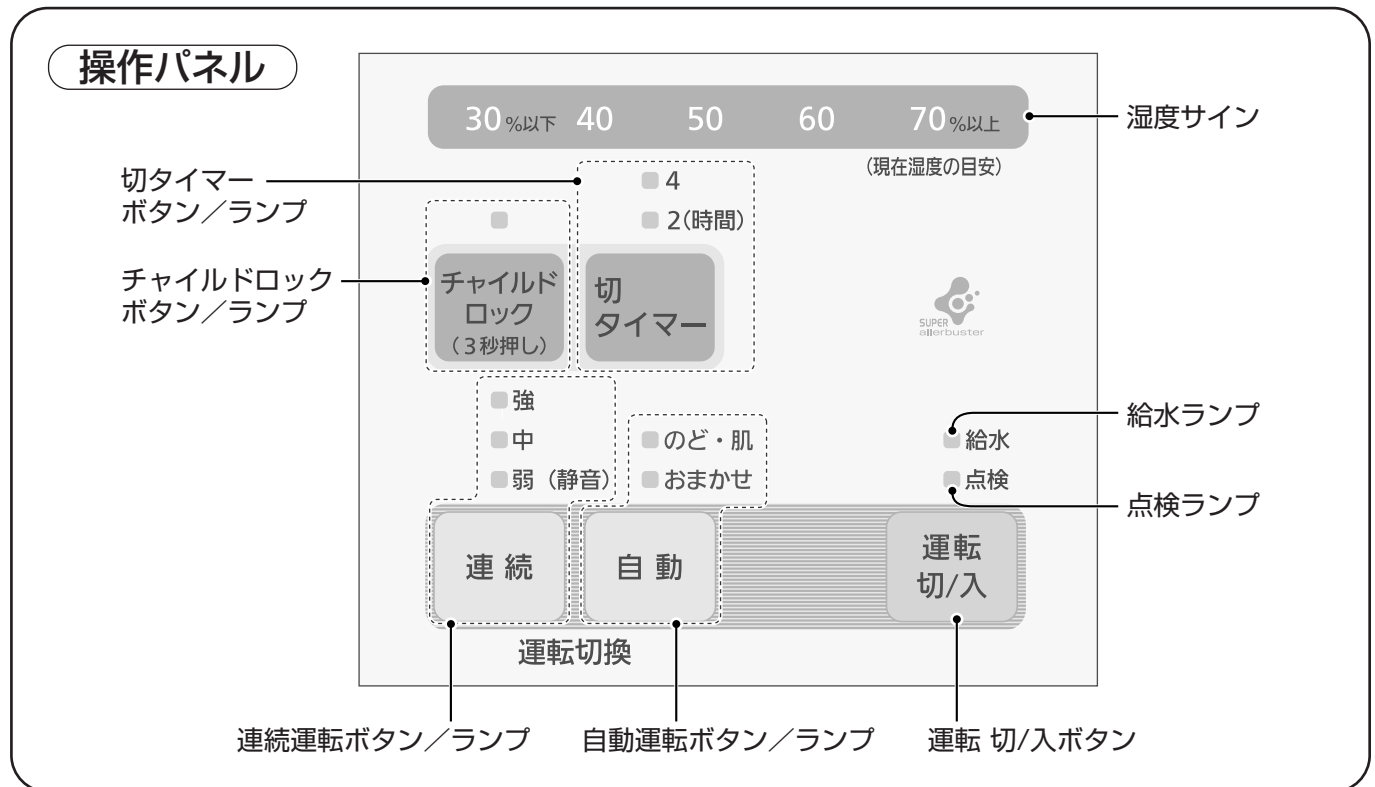
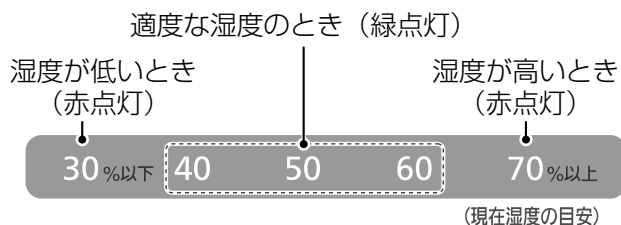
- 40℃以上の温水や化学薬品、芳香剤、アロマオイル、洗剤を入れた水（変形や故障の原因）
- 浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター、井戸水（カビや雑菌が、繁殖する原因）

お願い

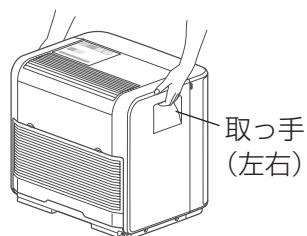
●やむを得ず井戸水（飲用）を使うときは、トレーと加湿フィルターセット、除菌ユニット（防カビ剤入り）のお手入れ回数を増やしてください。

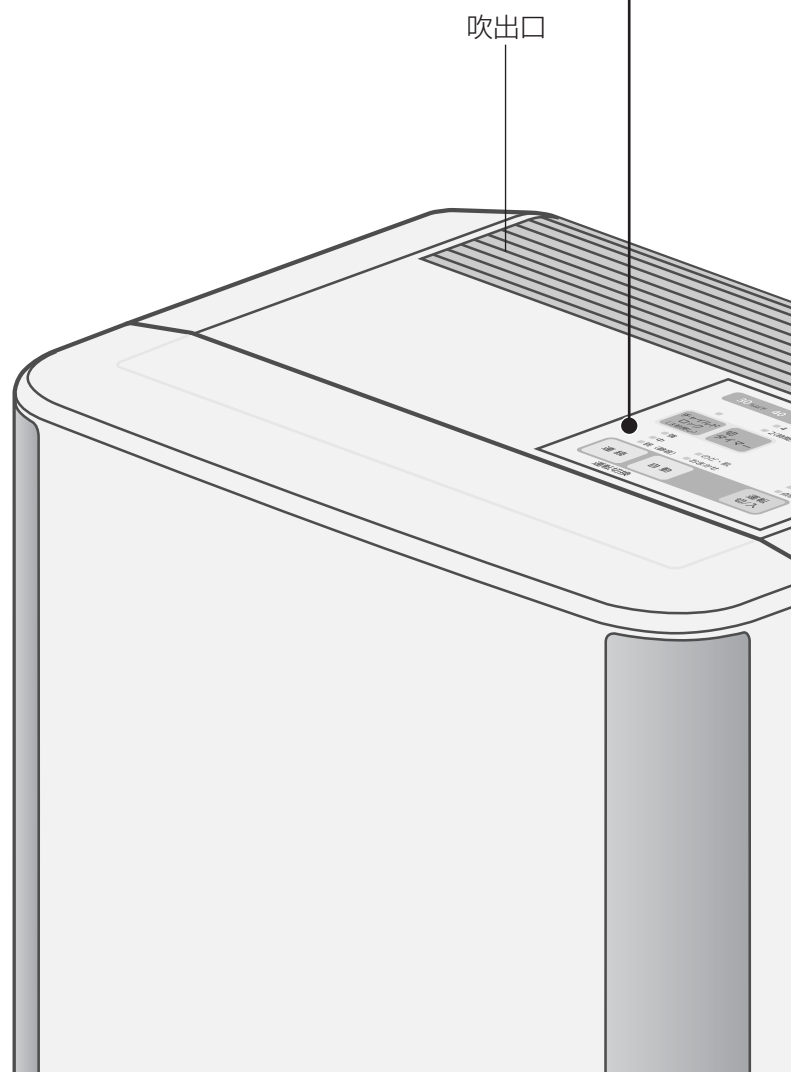
■ タンク満水時の連続運転可能時間

●FE-KFE10・・・約9時間
●FE-KFE15・・・約6時間
（連続「強」運転/室内の温度が20℃、湿度が30%の場合）

使い方

■湿度をランプでお知らせ《湿度サイン》

■給水ランプが点滅したとき
タンクに水を入れ(P.6)、「運転 切/入」を2回押す(運転が再開する)

■点検ランプが点灯したとき(P.13)

■本体の持ち方
両手で左右の取っ手を持つ。

⚠注意

移動するときは運転を止め、タンクを抜いてトレーの水を捨てる
(水がこぼれて家財などをぬらす原因)

連続運転（強／中／弱）

1 運転を始める 運転 切/入

2 運転モードを選ぶ 連 続

●押すたびに切り換わります。
●それぞれの風量で連続運転します。

3 運転を止める 運転 切/入

自動運転（のど・肌／おまかせ）

1 運転を始める 運転 切/入

2 運転モードを選ぶ 自 動

●押すたびに切り換わります。

のど・肌（ピッ!）
のどやお肌の乾燥が気になるとき
●少し高めの湿度を保ちながら、自動運転します。

↑

おまかせ（ピピッ!）
快適な湿度を保ちたいとき
●快適な湿度を保ちながら自動運転します。

3 運転を止める 運転 切/入

お知らせ ●「おまかせ」「のど・肌」運転時は、センサーを安定させるため、運転開始後最高約7分間、連続「弱」運転します。

切タイマーを使いたいとき

切 タイマー
（押して選ぶ）
4
2（時間）
（ランプ点灯）

2時間後・4時間後に自動で運転が止まるようにします。
●設定前に、タンク水量を確認してください。
（水量が少ないと、設定時間前に運転が停止することがあります）

■解除したいとき

を何度か押してランプを消す

ボタン操作ができないようにしたいとき

チャイルド ロック（3秒押し）
（3秒間長押し）
（ランプ点灯）

お子様の、いたずら操作を防止します。

●設定後に チャイルドロック（3秒押し） 以外のボタンを押すと、警告音が鳴り、操作はできません。

■解除したいとき
再度、3秒間長押しする（ランプ消灯）

使い方

お手入れする

■必ず、電源プラグを抜いてください。

● 右の洗剤などは使わない。
● 加湿フィルターのみ酸素系漂白剤をお使いになれます。
● 化学ぞうきんは、その注意書きに従って使う。

タンク ＜毎日＞

水洗いする

● しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤・クエン酸の使い方」参照。

本体・フロントパネル

● よく絞った柔らかい布でふく
● フロントパネルは本体から取り外すことができます。（先にタンクを抜いてから取り外してください）フロントパネルの取り付け方は「準備する」（P.6）参照。

取っ手

● タンクを抜かないと、トレーは外れません。
● トレーは、プレフィルターを外してから、取り外してください。

加湿機用洗剤・クエン酸の使い方

（別売品：裏表紙）

■加湿機用洗剤

2L当たり
1目盛り
（約20mL）

■クエン酸

3L当たり
2パック（20g）
または、大さじすりきり2杯

水か、ぬるま湯（約40℃以下）で、よく溶かす

● 濃度が高いと、破損の原因になります。
● 台所用中性洗剤もお使いになれますが、ニオイや汚れが落ちにくいことがあります。

＜つけ置き洗いのしかた＞

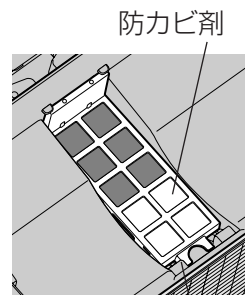
① 加湿機用洗剤などを溶かしたぬるま湯に、部品を約30分間入れて放置する。
② 2～3回新しい水ですすぎ洗いをする。
● クエン酸は、すすぎが不十分だとニオイや故障の原因になります。

部品	お手入れ
• タンク • トレー • フィルター枠 • フィルター押さえ	加湿機用洗剤などを溶かした水で洗う
• 除菌ユニット（防カビ剤入り）	つけ置き洗いする
• 加湿フィルター	つけ置き洗いの後押し洗いする

※ 水質により汚れ具合が変わるため、1か月以内でも、ニオイがしたりタンクの水が減りにくい場合は、お手入れしてください。

除菌ユニット（防カビ剤入り） ＜約1か月に1回※＞

加湿機用洗剤などでつけ置き洗いする

● 「加湿機用洗剤・クエン酸の使い方」参照。
● ブラシでこすったり、分解したりしない。

防カビ剤

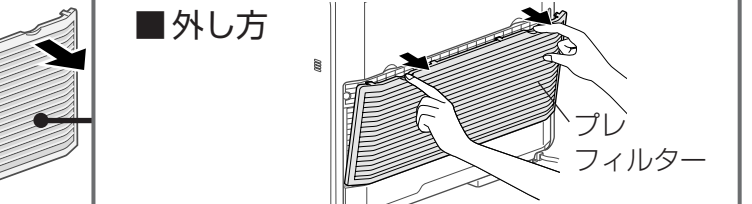
取り付けは、「カチッ」というまで押し込む

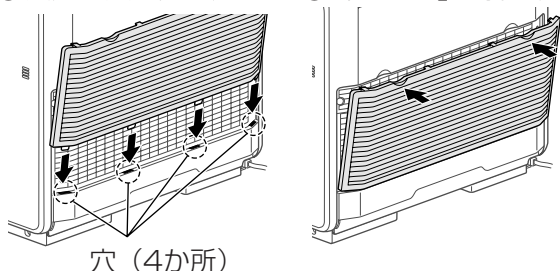
お知らせ

● 除菌ユニット（防カビ剤入り）から、白い粉が出たり、黒い粉が落ちることがありますが、性能や使用上の問題はありません。
● 防カビ剤は、使用とともに小さくなりますが、防カビ性能は問題ありません。
● 防カビ剤特有のニオイがすることがありますが無害です。

プレフィルター
＜約1か月に1回＞

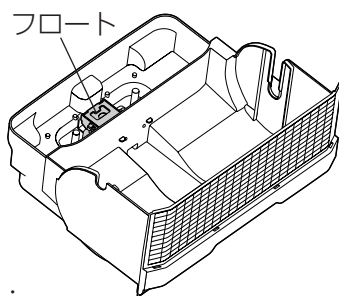
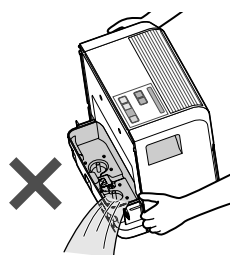
ホコリを掃除機で吸う

■外し方

■取り付け方

①突起を穴に差し込む　②「カチッ」と押し込む

●フィルターは、外したまま運転しない。
（吸ったホコリが本体内部に入り、故障する原因）
●破損した場合は、交換してください。
（別売品:裏表紙）

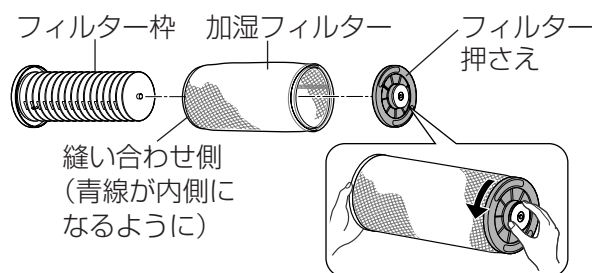
トレー ＜約1か月に1回※＞

水洗いする

●細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。
●**フロート（発泡スチロール）は、外さない。**
●しつこい汚れは
→「加湿機用洗剤・クエン酸の使い方」参照。

●排水は、トレーを取り出してから行い、本体から直接は排水しない。
（本体内部に水が入り、故障の原因）

加湿フィルターセット
＜約1か月に1回※＞

●加湿フィルターは
水か、ぬるま湯で押し洗いする
●フィルター枠とフィルター押さえは水洗いする。
●加湿フィルターは
• ブラシなどでこすったり洗濯機で洗ったりしない。
• 乾燥機で乾かさない。（縮みの原因）
●しつこい汚れやニオイが気になるときは
→「加湿機用洗剤・クエン酸の使い方」参照。

■外し方

フィルター枠から、フィルター押さえ、加湿フィルターの順に、取り外す。

■取り付け時のご注意

●加湿フィルターは、縫い合わせ側から、フィルター枠に差し込む。
●加湿フィルターは、フィルター押さえやフィルター枠との間にすき間ができたり、両端の円部分にかぶさったりしないようにする。
（加湿量が少なくなる原因）

加湿フィルター交換の目安

（別売品:裏表紙）

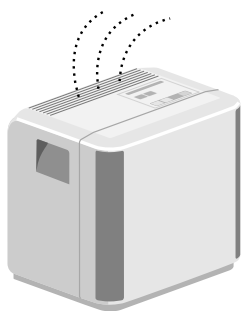
●10年に1回が目安です。（1日8時間運転の場合）
●ただし、水質により寿命が変わるため、次の場合は交換してください。
• お手入れしても、ニオイが取れない。
• タンクの水が、減らない。 • 傷みがひどい。
●加湿フィルターは不燃物として捨ててください。
ただし、フィルター枠とフィルター押さえは、捨てないでください。

長期間使わないときは

①電源プラグを抜く。（停止時も電力を消費するため）
②タンクとトレーの水を捨て、すべてのお手入れをする。
③内部をよく乾かす。（さびの発生による故障を防ぐ）
• 加湿フィルターセットは、十分陰干しして乾かす。
（カビの発生を防ぐ）
④ポリ袋などをかぶせ、湿気の少ない所に立てて保管する。
（寝かせたり、逆さにして保管すると、故障の原因）

よくあるお問い合わせ

お問い合わせや、
修理を依頼される前に、
まずご確認ください

風がつめたい？

水を含んだ加湿フィルターから湿気が出るとき、空気中の熱を奪うため、室温より低い温度の風が出ます。

加湿中、湯気は出ないの？

水を沸とうさせる方式ではなく、水を含んだ加湿フィルターに、風を当てて湿気を出す方式のため、湯気は出ません。

加湿量が少ない？

梅雨時の湿度が高いときや寒い日に、洗濯物が乾きにくいのと同じで、お部屋の温度や湿度によって、加湿量が変化します。暖かくて乾燥しているほうが加湿量は増えます。

窓や壁が結露する？

お部屋が適度な湿度でも、温度が低い窓や壁などでは、結露することがあります。

加湿フィルターが変色する？

水質などにより変色することがありますが、性能上の問題はありません。

湿度サインが「赤」のまま変わらない？

■ 70%以上 が点灯したままのとき

- 設置場所により、湿度を正しく感知しないことがあります。
  →設置場所を変える。（P.5）

30%以下	40	50	60	70%以上

（現在湿度の目安）

湿度サイン

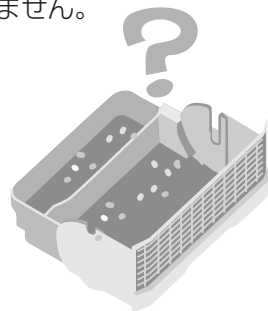
■ 30%以下 が点灯したままのとき

- 部屋が、適用床面積より広すぎませんか？
  →適用床面積を参考にする。（裏表紙）

お知らせ

- 湿度サインは目安にしてください。
- ご家庭の湿度計の表示と、異なることがあります。
- 湿度は、温度の変化に応じて値が変わります。
- 空気の流れが良い所と悪い所では、湿度が異なることがあります。

トレーの水が白くにごる？

除菌ユニット（防カビ剤入り）の亜鉛が酸化するためで、異常ではありません。

故障かな!?

まず、次の確認をしてください。
それでも直らないときは、必ず、電源プラグを抜いてから、
販売店に修理をご依頼ください。

修理をご依頼の際には、タンクとトレーの水を捨て、内部および加湿フィルターセットをよく乾かしてください。
（さびの発生による故障を防ぐため）

こんなときは	ここを確かめてください
風の出が少ない	●プレフィルター(吸気口)が、ほこりで目詰まりしていませんか？ →目詰まりを取り除く。（P.11） ●加湿フィルターセットに、水あかやゴミが付いていませんか？ →水あかやゴミを取り除く。（P.11）
●ニオイがする ●タンクの水が減らない	●加湿フィルターセットに、水あかやゴミが付いていませんか？ →水あかやゴミを取り除く。（P.11） ●トレーが汚れていたり、水が古くなったりしていませんか？ →トレーをお手入れして、汚れを落とす。（P.11） ●除菌ユニット（防カビ剤入り）は、トレーに確実に取り付けていますか？（P.10）
●運転ランプが点灯しているのに加湿しない ●部屋の湿度が上がらない	●湿度サインが「70%以上」になっていませんか？（P.8、12） →自動運転は、快適湿度を保つため、「70%以上」では加湿をしすぎないよう、加湿運転を停止しています。 ●加湿フィルターは、正しく取り付けられていますか？（P.11） →裏返ったり、はみ出して取り付けていると、音がしたり、加湿していないことがあります。 ●トレーは、奥まで確実に取り付けていますか？ →正しく取り付けていないと、運転ランプが点灯していても加湿していないことがあります。 ●部屋が、適用床面積より広すぎませんか？（裏表紙） ●換気をしたり、床がじゅうたん敷きではありませんか？ →じゅうたん敷きの場合や、換気状態・床や壁の材質によっては、湿度が上がりにくいことがあります。
タンクに水が入っているのに、給水ランプが点滅する	●トレーは、奥まで確実に取り付けていますか？ ●本体が傾いていませんか？ →水平で安定した、台や床の上に設置する。
点検ランプのみ点灯している	●本体が、転倒していませんか？ →① 電源プラグを抜く。 ② 本体を起こす。（こぼれた水はふき取る） ③ 半日以上使わず、置いておく。 （内部に水が入った場合、完全に乾かすため） ④ 再度、電源プラグを差し込み、運転する。 ●本体が、傾いていたり、倒れたりしたことがありませんか？ 本体をゆすったり、本体に衝撃が加わったことはありませんか？ →電源プラグを抜き、差し直す。 ●本体の上に、磁石や金属物を載せたことがありませんか？（P.5） →電源プラグを抜き、差し直す。
●カラカラ音がする ●トレーを本体に取り付けにくい	●除菌ユニット（防カビ剤入り）は、トレーに確実に取り付けていますか？（P.10） →正しく取り付けていないと、運転中に音がしたり、トレーを本体に取り付けにくい（外れにくい）ことがあります。

次のときは、すぐに販売店へ。

点検ランプが点灯し、「連続」の全ランプが点滅する	●本体が故障しています。 →電源プラグを抜いてから、販売店に修理をご依頼ください。

もっと知りたいとき

プレフィルターの働き

吸い込んだ空気の汚れをキャッチ。添着した緑茶カテキン、バイオ除菌、スーパーアレルバスターが、捕まえた汚れに働きかけます。

■緑茶カテキン　ウイルスの活動を抑制します。（特有のニオイがすることがありますが、天然成分なので無害です）

試験機関：（財）北里環境科学センター　試験方法：ウイルスの抑制率をプラーク法により確認　方法と場所：プレフィルターに緑茶カテキンを添着　試験結果：99%以上抑制

■バイオ除菌　菌※1、カビ菌※2 の活動を抑制します。

※1　試験機関：（財）日本食品分析センター　試験方法：標準寒天培地を用いた寒天平板培養法により確認　方法と場所：プレフィルターにバイオ除菌を添着　試験結果：99%以上抑制

※2　試験機関：（財）日本食品分析センター　試験方法：防カビ試験方法（ハロー法）にて確認　方法と場所：プレフィルターにバイオ除菌を添着　試験結果：抑制を確認

■スーパーアレルバスター　アレル物質（花粉やダニ）の活動を抑制します。

試験機関：大阪市立工業研究所　試験方法：精製ダニアレルゲンの低減を酵素免疫測定法で確認　方法と場所：プレフィルターにスーパーアレルバスターを添着　試験結果：抑制を確認

除菌ユニット（防カビ剤入り）の働き

トレーの中の水を清潔に保ちます。

除菌　試験機関：（財）日本食品分析センター　試験方法：標準寒天培地を用いた寒天平板培養法により確認　方法と場所：トレー内に除菌ユニット（防カビ剤入り）を配置　試験結果：99%以上抑制

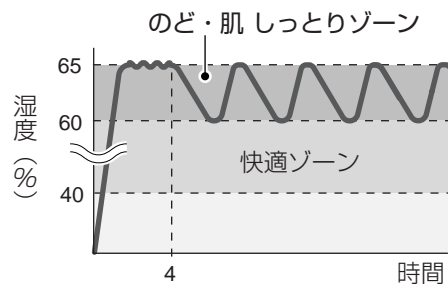
防カビ　試験機関：（財）日本紡績検査協会　試験方法：防カビ試験方法（ハロー法）にて確認　方法と場所：トレー内に除菌ユニット（防カビ剤入り）を配置　試験結果：抑制を確認

運転モード別の加湿のしかた

■「おまかせ」運転のとき

約60%の湿度を保つため、自動的に加湿したり、止まったりします。

■「のど・肌」運転のとき

最初の4時間は、約65%の湿度を保つよう運転します。4時間を過ぎると、自動的に加湿したり、止まったりし、約60～65%の湿度を保ちます。

• お手持ちの湿度計の表示と、差が出ることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・使いかた・お手入れ などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	(　　　)　　　−
お買い上げ日	年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「よくあるお問い合わせ」「故障かな!?」（12〜13ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	気化式加湿機
●品　番	FE-KFE10／FE-KFE15
●故障の状況	できるだけ具体的に

- **●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**保証期間：お買い上げ日から本体1 年間（ただし、プレフィルター、加湿フィルターは、消耗品のため、保証期間内でも「有料」です）
- **●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、この気化式加湿機の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は……

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時〜20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

■FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。〈http://panasonic.co.jp/cs/〉

■各地域の 修理ご相談窓口

- 電話番号をよくお確かめの上、おかけください。
- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

地区	拠点	電話	所在地
北海道地区	札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静 岡	☎(054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大 阪	☎(06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福 岡	☎(092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
	佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html　0509

- ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについては裏表紙をご覧ください。

仕様／別売品

仕　様

品　　番	FE-KFE10			FE-KFE15		
電　　源	交流100 V　50/60 Hz			交流100 V　50/60 Hz		
運転モード	「強」	「中」	「弱」	「強」	「中」	「弱」
消費電力※1	16 W	10 W	6 W	45 W	16 W	10 W
運転音	35 dB	29 dB	21 dB	45 dB	35 dB	29 dB
加湿量※2（室温20℃、湿度30%）	1000 mL/h	750 mL/h	500 mL/h	1500 mL/h	1000 mL/h	750 mL/h
適用床面積（連続「強」運転時）	木　造 和室 28 m²（17畳） プレハブ 洋室 46 m²（28畳）			木　造 和室 42 m²（25畳） プレハブ 洋室 69 m²（42畳）		
タンク容量	約9.0 L（約4.5 L×2）					
コードの長さ	1.8 m					
製品寸法（高さ×幅×奥行き）	410 mm×445 mm×350 mm					
製品質量	約9.6 kg					

※1　運転が「切」のときの消費電力は、約0.3 Wです。（電源プラグを差し込んでいる状態）
※2　室内の温度や湿度によって、加湿量は変わります。（P.12）

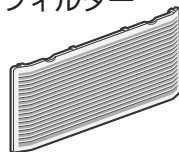
別売品

● 交換用加湿フィルター

フィルター枠やフィルター押さえは付いていません

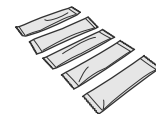
品番：FE-ZEE10
希望小売価格：8,505円
(税抜　8,100円)

（サービスパーツ）　販売店の場合、お取り寄せになります。（価格は、2009年9月現在）

● プレフィルター

部品品番：FKA0330152
希望小売価格：3,150円
(税抜　3,000円)

● 加湿機用洗剤
（400 mL）

部品品番：FE-Z40HV
希望小売価格：630円
(税抜　600円)

● クエン酸
（10g×5パック）

薬局などでも市販のクエン酸をお求めになれます

部品品番：FKA2000005
希望小売価格：210円
(税抜　200円)

別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」
でもお買い求めいただけます。

http://club.panasonic.jp/mall/sense/

愛情点検　**長年ご使用の気化式加湿機の点検を！**

こんな症状はありませんか

- 水もれする。
- 電源コードを動かすと、途中で止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげくさいニオイがする。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

【ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて】

- お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- 個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。）

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

KFE108770
M0809M0